








決	議長	局長	次長	係長	係員
裁				 	 

## 派遣承認要求書

令和3年6月29日

栗原市議会議長 殿

栗原市議会議員 尾形 勝通 

下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。

### 記

日時	令和3年7月14日(水) 8時30分から 令和3年7月14日(水) 16時00分まで
派遣先	東日本大震災・原子力災害伝承館 福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39番 JA新みやぎ「元気くん市場 仙台南店」 宮城県仙台市太白区茂庭字新御所川132
派遣目的	東日本大震災・原子力災害 伝承館 視察調査 先ごろオープンされた施設において、東日本大震災及び原子力災害という未曾有の複合災害の記録と教訓の情報発信拠点としての役割と地域交流の促進の取組を視察調査する。 JA新みやぎ農産物直売所「元気くん市場 仙台南店」の現況調査 昨年、7月3日にグランドオープンされた、JA新みやぎの農産物直売所は、JA新みやぎ合併の大きな目玉として開設され、活況が呈されている中で、栗っこ地区からも多品目が出荷されている現況を現地調査する。
経費	8,071円
派遣議員氏名	尾形 勝通
議長依頼文の要否	要 <input checked="" type="checkbox"/>
備考	【参加者】新清流(4名)、政策フォーラム(4名)、立憲・社民フォーラム(2名)、三浦 善浩、菊地 広志、菅原 麻紀



※ その他資料があれば添付願います。

様式第10号(第7条関係)

## 視察研修結果報告書

令和3年 8月 10日

栗原市議会議長 佐藤 千昭 殿

会派に所属しない議員  
尾形 勝通



視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

### 記

1 期 間 令和3年7月14日

2 視察研修先

①東日本大震災・原子力災害伝承館 福島県双葉町

②JA新みやぎ「元気くん市場仙台南店」 仙台市茂庭

3 目 的

①双葉町の原子力災害の復興状況調査研究

②JAの産地直売の現状と課題研究

4 調査研究内容

①双葉町は現在も町の大部分が帰還困難区域に指定されている。一方で国より特定復興再生拠点区域の認定を受け、JR双葉駅周辺整備など、帰還困難区域内であっても復興が進みつつある。運よく双葉町長より災害当初から現在に至るまでの苦悩の日々について直接お話を伺った。

②昨年7月1日に開業約1年で5億3千万円の売り上げである。目標は7億円としている。尚売り上げを伸ばす方策を考えている。登録生産者は900名だがうち2割約200名が年間を通じて集荷している。時期によって品薄が出る。

常時出荷者を増やしていくのが課題だ。栗っこ管内の生産者に働きかけ

ていただければ幸いです。

5 参加議員









尾形 勝通



( )

( )

様式第8号 (第6条関係)

決 裁	議 長 	局 長 	次 長 	係 長  	係 員   
--------	--	--	--	---	--

派遣承認要求書

令和3年10月19日

栗原市議会議長 殿

栗原市議会議員  

下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。

記

日 時	令和 3 年 11 月 1 日 (月) 9 時 30 分から 18 時 00 分まで
派遣先	女川原子力発電所施設
派遣目的	女川原子力発電所再稼働決定に共済 地域への影響調査。
経 費	7,000円
派遣 議員氏名	尾形 勝通
議長依頼 文の要否	要 <input type="radio"/> 否 <input checked="" type="radio"/>
備 考	




様式第10号(第7条関係)

視察研修結果報告書

令和3年11月19日

栗原市議会議長 佐藤 千昭 殿

尾形 勝通 

視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

記

1 期 間 令和3年11月1日

2 視察研修先

①宮城県女川町 女川原子力発電所

3 目 的

①女川原子力発電所再稼働の安全性と地域合意等の状況調査研究

4 調査研究内容

①東北電力は原子力発電所の運転再開を単なる再稼働ではなく「再出発」

と位置づけていると感じられた。

②発電所の安全性が向上している事は視察した原子力発電所内の随所で

感じられたが大事なことは発電所内の情報が地域住民に正確に伝わって

いるか注視していかなければならないと思料された。

5 参加議員

尾形勝通

